

知って災害に備えましょう!

令和8年5月下旬から 気象警報が大きく変わっています!

避難のタイミングは「レベル」で判断を!

変更前

避難情報等(警戒レベル)			河川水位や雨の情報(警戒レベル相当)	
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	防災気象情報(警戒レベル相当)	
5	災害発生または切迫	命の危険直ちに安全確保!	5相当	氾濫発生情報 大雨特別警報(土砂災害)
~~~~~(警戒レベル4までに必ず避難!)				
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	4相当	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	3相当	氾濫警戒情報 洪水警報 大雨警報(土砂災害)
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	2相当	氾濫注意情報 大雨注意情報
1	今後の気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	1相当	---

## 主な変更点

- 5段階の気象情報の名称が統一
  - 警戒・注意報に「警戒レベルの数字」が付きやす
  - 警戒レベル4相当の「危険警報」が新設されました
- その他の変更点など、詳しくはホームページで確認を。  
右コードからアクセス可。



変更後

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮	警戒レベルごとの住民がとるべき行動
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険直ちに安全確保!
<b>⚠️ 警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難!</b>					
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認
警戒レベル1	早期注意情報				



舞鶴市が準備する避難所などで使用できる防災グッズの一例



に 対 応 す る こ と は 困 難 で す 。  
 だ から こ そ、行 政 が 用 意 す る 支 援 (土 台) の 上 に、自 分 自 身 に 必 要 な も の を 足 す こ と が、避 難 所 生 活 で の 安 心 を 支 え る こ と に つ な が り ま す。  
 災 害 の 備 え に 完 成 は あ り ま せ ン。一 人 一 人 の 日 常 か ら 生 ま れ る 備 え を 重 ね る こ と で、も し も の 時 の 安 心 を よ り 確 実 な も の に し ま し ょ う。

このページを読んだ「ついで」に **防災アプリの登録を!!**

- ◆ 防災シグナルで危険が分かりやすい
- ◆ 天気や河川情報をいつでもすぐ確認
- ◆ 使う人にあわせた機能に 災害時に役立つ便利な機能がいっぱいです!

舞鶴防災 登録はこちら

# 無理をしない 「ついで」の備えを

日常の延長が 防災になる



日々の生活に防災の視点を取り入れる「フェーズフリー」という考え方を取り入れてみませんか。キッチンや寝室のルーティンを少しだけ見直してみるなど、日常の延長線上で備えることで、無理なく防災対策を続けられます。出水期を迎えた今、自分と家族の安全・安心をより確実なものにするために、身近な暮らしの再点検から始めましょう。 《危機管理・防災課》

## 在庫確認の「ついで」に

買い物へ行く「ついで」に、日常の食品を少し多めに買い足してみませんか。古いものから消費し、使った分を補充する「ローリングストック」を取り入れましょう。特別な非常食を準備しなくても大丈夫です。普段の食材を循環させるだけで、期限切れの心配がない最新の備蓄が保たれます。

## 掃除の「ついで」に

風呂の浴槽を洗うタイミングを「お湯を張る直前」に変え、残り湯を常に貯めておきましょう。災害発生時、行政による給水支援が整うまでには時間を要します。その中で最も困るのは「トイレの洗浄水」です。日常の掃除時間をずらす「ついで」の工夫

## 寝る準備の「ついで」に

が、自宅での衛生環境を自力で維持するための、確実な備えとなります。寝る準備の「ついで」に、スマホや履き慣れたスリッパ、ルームシューズを近くにそろえておきましょう。夜間の避難で最も怖いのは、暗闇での足元のけがです。一度、けがをしてしまうと、その後の避難行動そのものが困難になります。また、避難所の生活でも、使い慣れた履き物は疲労を軽減するためのアイテムとなります。

## 移動の「ついで」に

車のガソリンは半分になったら満タンにする、普段使うかばんに予備のモバイルバッテリーや常備薬を入れる習慣をつけましょう。行政は避難所の開設や食料の確保など、命を守る土台を整えます。しかし、個別のニーズ(常備薬、衣類の予備、おやつなど)全て